

人孔蓋修繕単価契約特記仕様書

1. 適 用

本仕様書の適用範囲は、相模原市土木工事共通仕様書とともに修繕実施にあたり、受注者が守らなければならない特記事項についての仕様であり、共通仕様書と重複する部分については本仕様書を優先する。

2. 目 的

人孔蓋の修繕が必要と判断された箇所の修繕が、すみやかに支障なく施工されることを目的とする。

3. 工程管理

監督員から指示された箇所について、地下埋設物の位置、現場の状況等を考慮すること。
また、事前に近隣住民には「工事のお知らせ」を配付すること。

着手前に、他の供給管の重複工事を調査し、計画がある場合は、路面復旧、工期について事前調整すること。

4. 安全対策の指導

現場責任者は、通行人、作業員、付近住民に事故がないように安全対策について、作業員の指導、指示、監督を徹底すること。

5. 修繕の施工

1) 写真等の提出

ア) 修繕写真は着手前、完成、工程写真 各 2 部

出来形調書として着手前、完成 各 1 部

イ) 着手前、完成、各工程写真、カッター径、路面復旧及び施工深さを全箇所

ウ) その他監督員が指示したもの

2) 施工

原則として 1 日の作業終了までに路面復旧まで完了させること。

特別の理由により路面復旧が完了できない場合は、監督員と協議し万全な安全管理対策を実施すること。

6. 類似、特殊工種の取扱いについて

1) 類似工種の適用

契約以外の工種については、その工種規模が比較的軽微で作業内容が類似し、費用も同等と判断される場合は、類似工種として取扱い施工することができる。

2) 特殊工種の適用

類似工種の適用を行うことが困難な工種を施工する場合は、契約工種の中で特に類似する工種を選定し特殊工種として取扱い、次の方法で処理する。

ア) 特殊工種の必要性を確認し、内容及び数量を把握する。

イ) 特殊工種単価を作成する。

ウ) 特殊工種単価を類似する工種単価に換算する。

$$\text{特殊工種単価} / \text{類似工種単価} = \text{工数}$$

エ) 工種別明細に計上 少数点以下第2位（第3位切捨て）

7. 交通誘導員警備員について

交通誘導員警備員については、(2人/日、昼間・夜間、区分A・B)とし、工事着手から完了まで交通誘導員警備員を配置すること。なお、交通管理者と協議の結果、交通誘導員の増加があった場合は、監督員と協議すること。

8. 舗装版切断濁水処理について

可能な限り吸引により回収した濁水を産業廃棄物として中間処理施設に運搬及び処理すること。

処理量の参考値については、現場説明書のとおりとする。

なお、詳細については、共通特記仕様書を参照すること。

9. 単価見積条件の明示

(1) 入札価格

入札価格は、設計単価算出表の基準工種「蓋（再利用）（調整リングH=150）A1」の経費を含んだ1箇所当りの単価（但し、消費税を除く）とする。

(2) 契約の方法

この契約は、単価契約とする。

各工種の単価は、基準工種の入札価格を100%として、設計単価算出表の比率により算出し円止めとする。

また、契約にあたっては、概算設計金額（消費税を含む。）に落札率を乗じて得た金額（以下「発注上限額」という。発注上限額は万円止めとします。）で、契約単価表を付して契約を行うものとする。

なお、発注上限額は指示の限度額であり、確定金額ではない。そのため、本市の都合により、指示書に基づく契約金額の合計額が発注上限額に満たない場合が生じても、異議の申出又は損害賠償の請求することはできないものとする。

10. この特記仕様書に疑義が生じた場合は、監督員と協議し対処すること。

以 上